



まちの話題

子ども力士の名勝負！

天満神社願成就祈願祭・奉納子供相撲大会

天満神社願成就祈願祭・奉納子供相撲大会（天満神社主催）が9月24日、調川町にある天満神社の境内で開催されました。

この行事は、諸願成就と豊作を感謝し、子どもたちの健全育成を願って毎年開催されています。

赤や白のまわしをつけた幼児や児童、生徒約30人が、お祓いを受けたあと相撲を奉納しました。

体格差があっても果敢に攻める子や慎重に守りに入る子など、熱戦が繰り広げられ、観客から大きな声援と拍手が起きました。

また、調川地区青少年健全育成会からかき氷とたこ焼きが振る舞われ、神社に子どもたちの元気な声がこだましました。



連携して災害に備える

災害時における物資供給に関する協定調印式

NPO法人コメリ災害対策センターとの災害時における物資供給に関する協定の調印式が9月27日、市役所で行われました。

市では、災害時における応急復旧活動や物資供給等の支援について、民間企業・団体等と連携し、迅速かつ効果的な災害対応が可能となる体制の構築に取り組んでいます。

備蓄できる物資の量や種類は限られるため、民間企業の物流網や店舗網を活かすことで、必要な物資を、必要な時期に、必要な量を、必要な場所に迅速に届けることができます。

今回の協定締結により、地震災害や風水害などの自然災害だけでなく、原子力災害などの発生時にも食料や生活必需品、災害対応に必要な物資全般の供給体制の拡充が図られます。



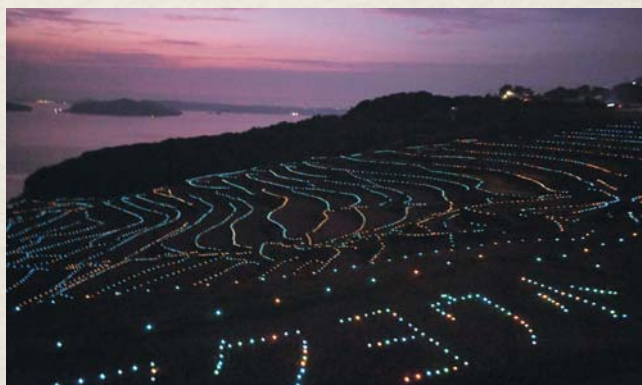
棚田に広がる3色の灯り

土谷棚田 LED ライト点灯

日本棚田百選にも選ばれた福島県土谷棚田が6,000灯のLEDライトによる3色の光の帯で彩られました。

9月17日の火祭りは台風の影響で中止となりましたが、火祭りの雰囲気を感じてもらいたいと、福島おいどんがまちづくり会が中心となりボランティアの人たちの協力を受けLEDライトが設置されました。

18日から23日までの期間中、訪れた人たちを棚田に広がるLEDライトのあたたかな光が迎え、徐々に色が変わる様子に感嘆の声が挙がりました。火祭り当日以外のライトアップは初の試みでしたが、来年以降も実施される予定です。



思いを英語で伝えたい

ビル・モロイ杯 English スピーチ・コンテスト

第6回松浦・マッカイ ビル・モロイ杯Englishスピーチコンテストが9月24日、生涯学習センター（きらきら21）で開催され、市内の中高校生17人が出場しました。

このコンテストは、松浦市とマッカイ市との姉妹都市交流で友好関係の構築に尽力されたビル・モロイ氏の功績をたたえとともに、中高生の英語力の向上を目的に開催しています。今回は7月21日にお亡くなりになったビル・モロイ氏の追悼として、ビデオを上映し、黙とうがさげられました。

最優秀者は次の通りです（敬称略）。

【暗唱部門】 椎山 美奈子（鷹島中学校3年）

【オリジナル・スピーチ部門】 大塚 彩香（松浦高校1年）



秋の風情とお茶を楽しむ

第6回観月の茶会

第6回観月の茶会が10月1日、文化会館で開催されました。中秋の名月を眺めながら、日本の伝統文化である茶道を身近なものとして気軽に楽しんでもらいたいと松浦茶道連盟（代表加藤宗鶴）が主催し、毎年開催されています。

この日は、雲が厚く月を眺めることはできませんでしたが、竹灯籠やすすきにお団子など、茶道連盟の会員らがつくりあげたおもてなしの工夫が凝らされた心地よい空間が広がり、家族連れや友人同士など約350人の参加者でにぎわいました。

参加者たちは、この日のために用意された月とうさぎが描かれたお菓子和抹茶を味わい、秋の夜長を楽しみました。



地域の安全を守っています

県内一斉防犯パトロール志佐地区

県では、地域ぐるみの自主防犯活動の輪を県内各地域に広げ、犯罪のない安全・安心な地域社会を実現することを目的に県内一斉防犯パトロールが行われています。10月11日の実施日にあわせて、市でも防犯パトロールが行われました。

防犯協会やPTA、自治会、更生保護女性会など46人が参加し、通行人に啓発物を手渡して防犯を呼びかけました。

松浦警察署によると、市内の犯罪発生件数は減少傾向だが、鍵をかけておらず被害にあうケースが多いとのことで、参加者たちは、県民総ぐるみ運動「犯罪なく3（さん）ば運動～カギかけんば、ひと声かけんば、見守りせんば～」を推奨しようと熱心に声かけしていました。



みんなで美しいまちに

なぎなたモニュメント手入れ・不老山総合公園除草作業

松浦ロータリークラブ（角野智志会長）が9月29日、文化会館前のなぎなたモニュメントの手入れおよび不老山総合公園の花壇の除草作業を行いました。

屋外に設置されたモニュメントは、一年間の汚れが拭き取られた後、金属磨き剤を使って丁寧に磨き上げられました。また、不老山総合公園の花壇には後日ガゼリアの植え付け作業が行われる予定です。

角野会長は、「どちらも市民の憩いの場所なので皆さんに気持ちよく過ごしてもらえれば嬉しい。モニュメントも、『なぎなたのまち』を宣言する松浦市のシンボルとして定着し、市民に親んでもらえる存在になって欲しい」と話されました。



地方自治の発展に尽力

監査事務功労者総務大臣表彰

松浦市の代表監査委員である浦田^{たかや}義也さん（志佐・庄野）が、地方自治法施行70周年記念監査事務功労者総務大臣表彰を受賞され、10月2日、市長から表彰状の伝達式が執り行われました。

監査委員は、地方自治法に基づき設置されている執行機関で、松浦市には2人の監査委員が選任されています。行財政の公正で効率的な運営を確保するために、主に関係法令や予算に基づき財務や事務が適正に行われているかを監査し、その結果を住民に広く知らせています。

浦田代表監査委員は、平成18年から11年間、市の監査委員として監査事務に尽力されるとともに、地方自治の振興発展に貢献され、

その功績が顕著であったため表彰となりました。

浦田代表監査委員は、「長く続けてこれたのは周りの支えがあったからこそ。皆さんに感謝したい」と受賞の喜びを述べられました。

